

第48回（2020）日本選手権大会 南関東支部夏季予選 実施要領

・南関東支部予選

- 日程 7/12～8/16
主管 南関東支部
参加費 なし
・日本選手権 日程 9/20～9/22 参加16チーム (南関東支部代表枠 2チーム)
主管 関東連盟

・形態 《予選リーグ》

- 日程 7/12～7/24
会場 グラウンド提供チームGおよび公営球場
予選方法 各ブロックは大会時の移動範囲を出来る限り少なくなるよう、現在のブロック（神奈川4、静岡2）内で組合せ。また、昨年度のクラストカップ県予選の結果を踏まえて組合せ。
4チームブロックのリーグ戦。4で割り切れないときは3チームのブロックのリーグ戦とする。
トーナメント出場権は各リーグ戦上位2チームとする。
順位 各ブロックの順位は、次の順序で決定する。
①リーグ戦で1勝の場合は勝ち点3、引き分けの場合は1とし勝ち点の多いチームを上位とする。
②勝ち点が同じ場合は、
・ブロック内の内の全試合の得失点で上位、下位を決める。
・得失点差でも決定されない場合は、得失点で決着のついたチームを除いて、対戦結果の勝者を上位とする。
③なおも決定されない場合は、同位のチームによる抽選によって決定する。

《代表決定トーナメント》

- 日程 7/26～8/16
会場 グラウンド提供チームGおよび公営球場
組合せ 各ブロックリーグ戦上位2チームを別紙トーナメント表の枠に抽選で組合せ。
抽選については、代理抽選とし支部のブロック長が行う。7/24（金）実施予定。
決勝戦を行い第1代表、第2代表を決める。3位2チームと代表チームは表彰あり。
期日までに代表チームが決定しない場合は、得失点差が大きいチーム、同位の場合は失点の少ないチームで決める事とする。

・提供グラウンド 予選

- 鶴見、横浜南、横浜旭、瀬谷、横浜泉、厚木、平塚、小田原足柄、藤沢、横浜緑、寒川
三島、富士、富士宮、静岡蒲原
※予選リーグのチームで有料球場が確保されている場合はそちらを優先して使用。

決定戦 鶴見、横浜南、横浜旭、瀬谷、横浜泉、厚木、平塚、小田原足柄、藤沢 富士、富士宮、静岡蒲原、（三島）

・標準試合開始時刻 第1試合 9時、 第2試合 11時、 第3試合 13時 (会場の事情により変更あり)

・試合形式

- 試合は7回戦とし、5回終了を以って正式試合とする。
4回終了時10点差、5回終了時以降7点差以上の場合はコールドゲームとする。
ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない。
試合は2時間制限試合とし、5回以降試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、制限時間に達した時点でのイニング（表裏）を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。（4回終了以前に2時間が経過した場合でも試合が成立する5回終了まではそのまま継続して行なう）ただし、決勝戦は2時間制限試合を適用しない。
7回終了時同点の場合は、2時間以内であっても延長戦は行なわず タイブレーク方式に入る。
タイブレーク方式は3イニングまで継続するが、未決着の場合は抽選とする。
決勝戦は7回終了時同点の場合は延長9回まで行ない、9回終了時なお同点の場合は10回からタイブレーク方式に入り、勝敗が決着するまで行なう。

荒天・日没 その他の理由により試合続行が不可能となった場合で、まだ試合が成立していないときには、後日前の試合のイニングと経過時間を引き継ぎ、特別継続試合を行なう。

投手の肘・肩の障害を予防するため、投球に関しては日本中学硬式野球協議会が定める『中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン』に従う。

・審判部

予選リーグは自チームの大会会場にチーム審判員1～2名の派遣を要請する場合があります。

・選手登録

ベンチ入り選手は25名

・試合の予定

試合の予定は毎週水曜日までにブロック長経由で各チームに連絡する。
連絡がないときには、所属するブロック長に問い合わせのこと。

・中止の決定

第1試合の中止の決定は責任役員、責任審判員、グラウンド責任者が協議の上、原則当日朝8時以降に決定する。

・チームの失格

試合開始予定時刻に不在チーム及び選手登録証が未提出のチームは失格となり、当日の試合は不戦敗となる。

※連盟大会規程細則の（9）～（14）の遵守

グラウンド到着後、速やかに以下を提出の事。

・メンバー表 ・選手登録カード ・指導者登録カード

・指導者講習カード ・投球回数確認シート

・グラウンド使用料

1試合当たり2,000円をグラウンド提供チームに支払う。

有料球場の場合は1試合当たり5,000円を責任チームに支払う。